

## R3年度在宅難病患者一時入院事業に関するアンケート結果

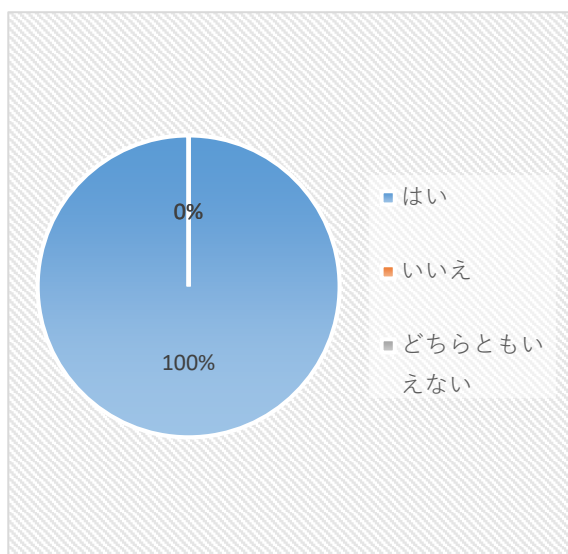
(このアンケートは、R3年度新規レスパイト入院の協力を頂いた6病院の病棟看護師さん  
からご意見を伺っております)

この度はレスパイト事業にご協力頂きありがとうございました。  
難病相談連絡員は、新規レスパイトの調整的役割を行っております。  
利用される患者様・ご家族はもちろんですが、現場で対応して頂く看護師さん達が  
安全に安心して、この事業に参加できることを願っております。  
そこで、現場の看護師さんのご意見を伺いこの事業に反映できればと思っております。  
お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートにご協力をお願い致します。

### 1. 患者様情報等の資料についてお尋ねします。

#### 1) 「患者様の紹介」(写真付きのもの)について

##### (1) 患者様の全体像のイメージはつききましたか。



お役に立てまし  
たか？

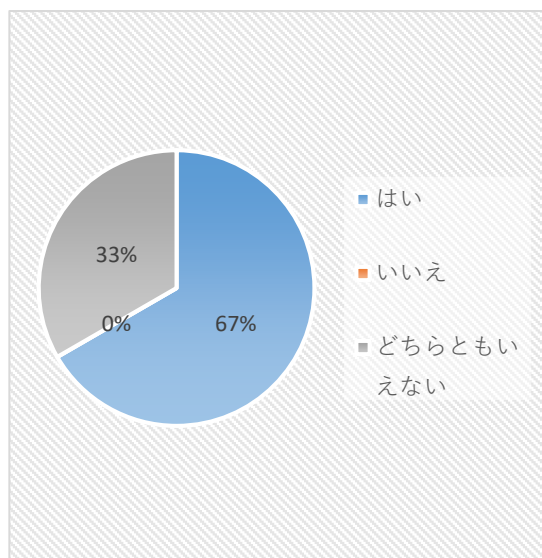


こんな感じ・・・

レスパイト入院  
●●様 ご紹介



##### (2) 処置やケアの方法等はわかりましたか。



痰などの流出多いため、皮  
膚の予防的にワセリン塗布  
しています



気切部周囲は清拭  
し、周囲をワセリン  
塗布しYガーゼをは  
さみます

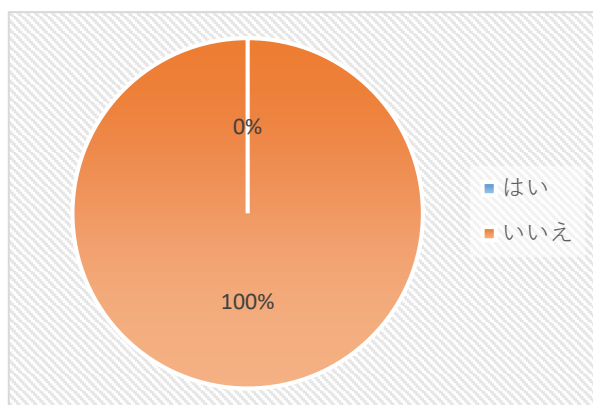
(3) 他にどのような情報を載せてほしいですか。ご記入をお願いします。

- ・ 沢山の情報を入院前に準備してくださり、新規レスパイトだったのでイメージはつきました。
- ・ ただ、沢山ありすぎて対応する時にどこを見れば良いのか分からなかったとの意見もありました。
- ・ 体位変換の枕をどの位置まで入ると本人的に楽なのか知りたかった。
- ・ 詳細に状況を記載していただいているので助かります。入院中は自宅と同じ方法や時間で対応することが困難なことも多いので、その点についてご了承いただけると助かります。事前にその旨を説明いただいた反応等がわかると助かります。

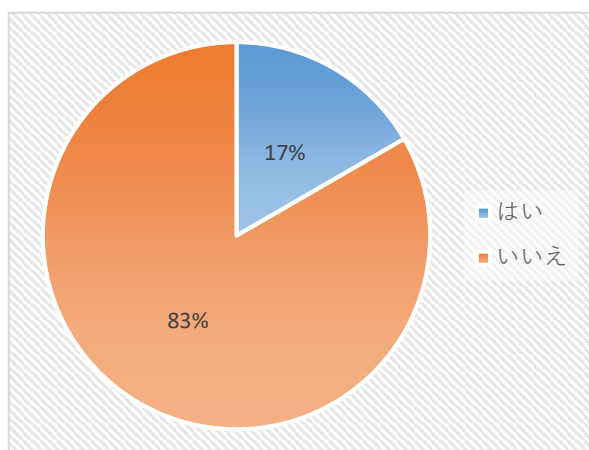
## 2. 入院前の家庭訪問についてお尋ねします。

1) 新規レスパイト入院時は、患者様宅に家庭訪問し多職種で入院に関するカンファレンスを行っていますが、ご存じでしたか。

※ 訪問時のカンファレンスのメンバーは、患者・家族、受け入れ医療機関（難病担当MSWや病棟看護師）、訪問看護師、ケアマネージャー、保健所（保健師）、難病相談連絡員（茨城県立中央病院）などです。



2) 今回のレスパイトの患者様宅へは、病棟看護師さんは訪問しましたか。



3) 2) で①はいと答えた方に質問です。

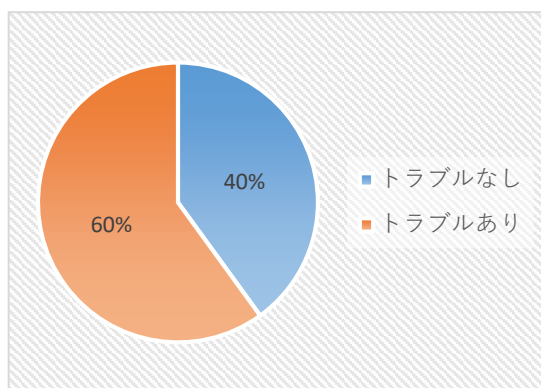
家庭訪問のメリット・デメリットはありましたか。具体的にご記入ください。

・家での生活環境（ベッドの高さ、ポータブルトイレの位置：便座は温めるタイプを使用、食器等）や、Ptの身体（腹部膨満の様子、吸引時の咳・痰の量、コミュニケーションの方法等）を把握。

院内のNsコール使用の有無が事前に分かり（院内での生活を入院前の生活に近づけるために）、スタッフや栄養科・Drとカンファしたことは、Ptさんの安心や安楽につながったと思う。事前にPtや家族とコミュニケーションがとれ、信頼関係を築きやすく感じた。訪看Nsが具体的にケア方法を教えてくださり、入院中困ることはなかったように思う。

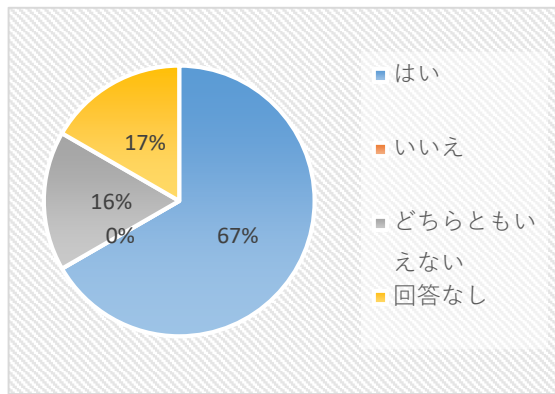
4) 2) で②いいえと答えた方に質問です。

病棟看護師さんが訪問に来られない場合は、前もってケア・処置など調整に必要な事柄の確認をさせて頂いておりますが、入院中にトラブルはありませんでしたか。



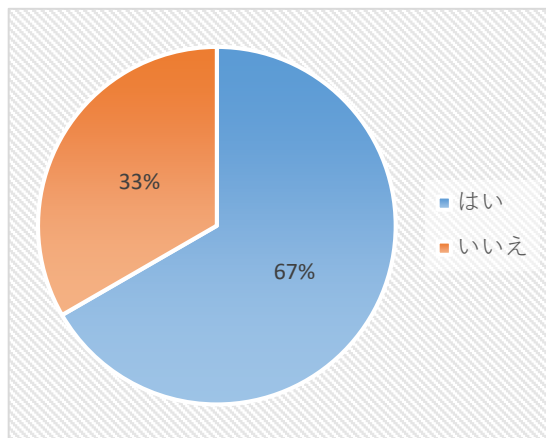
- ・トラブルはなかったが、ピエゾが鳴りっぱなしになることが多かった
  - ・スタッフの人数が少ない夜間は、食べ物の摂取は出来ないと話してくださっていましたが、ご本人が強く希望され介助していました。なかなか他の患者様が沢山いる中では、今後難しいと思います。
  - ・入院前PCR・プロフィール聴取を事前にお渡ししておいて、待ち時間を減らせば良かった。
  - ・費用面において、病院（連携）と医事課での対応が遅くて家族を不快な思いにさせてしまった。
  - ・本人・家族が希望していたケアを十分に提供できなかった。
- 日々楽しみにしていた、好きな飲み物を飲む事がほとんどできなかった。入浴ができなかった。入浴ができなかった。

5) 今後、機会（病院で許可されれば）があれば訪問したいと思いますか。



### 3. レスパイト入院中についてお尋ねします。

1) コミュニケーション手段・ケア・処置等の調整で、困った点がありましたか。



・やはり文字盤でのコミュニケーションはとても難しかったです。

50音以外にも訴えのある内容について別で作成していただきましたが、ご本人は「文字盤」を希望され、別で準備して下さった内容を文字盤で訴えられていました。視点を合わせることでコミュニケーションは出来ませんでした。

・体位変換用の枕をどのように入れるといつもの状況になるかわからず、うまくいかなかった。

・当院では、体位変換時にオムツを確認し、汚染されていればその都度交換を行っているため、準備していただいたオムツの量では少なかったため、初めから契約などをしてもらった方が良かったのではないかと感じた。

・患者の思いが分からない、どうコミュニケーションをとっていいのかわからないことが困った。ピエゾも鳴りっぱなしであることもあって、何度も声かけしても患者が首を振り、違うと言われてしまうと何をすべきかが分からず、何もしてあげられず悲しくなってしまった。意思疎通ができないと何もしてあげることが出来ず、患者に申し訳ないと思いました。

- ・入れ歯用接着剤が粉タイプのものでスタッフが使用したことがなかった為、必要量の粉の分量がわからず、多く使用してしまうことがあった。

#### **4.レスパイト全体を通して、ご意見やご要望がありましたらご記入をお願いします。**

- ・私達看護師も慣れていないこともあり、ご本人さんの訴えを理解するまでに時間がかかり、辛い思いをさせてしまったこともあったかと思います。

- ・レスパイト入院受入れの経験がうすく、患者さんには大変ご迷惑をかけ申し訳なく思っています。しかし、スタッフの学習の良い機会にはなったと思います。

- ・1日の流れとして、自宅に居る時と同じにはなかなか出来ないと思います。

なるべく行わなければならない事は行いますが、自宅での時間と少し違ってくると思っています。

病棟NSより事前にわかっていれば病室の紹介（写真等）を患者や家族にしても良いのではないかと思った。

- ・処置やケアの多い患者さんの場合（特に初めての受け入れ時）自宅での方法を確認させていただき 病院での対応を検討する場合もあると思うので、事前に何らかの情報交換する時間があると助かると思いました。

- ・今回は丁寧な資料の提供と入院前の情報交換により、スムーズに入院中のケアを継続することができました。

- ・事業について、病院全体が理解しなければ居場所の提供だけに留まってしまいます 家族には休息の機会となっても、本人は家族の為と我慢の日々になってしまいます。

ご本人にとっても少しでも医心地のいい時間になるようにしたいと思います。

入院終了後の声のフィードバックとして、個人が特定されないように半期に1度程度、利用された方々からの声をまとめた資料を提供していただけると、入院生活のQOL向上につながるのではないかと思います。

病棟の看護師様方、ありがとうございました。